

# 台風18号 党議員に切実な要望

## トタン屋根飛ばされる

札幌市

八軒の加藤忠義さんの店が横や後ろの家に落ちて、  
舗兼住宅の二階のトタン窓や屋根を壊しました。  
屋根が吹き飛ばされ、壁も崩れ落ちそうな状態でした。

めない。主人はもう年金生活なのに、これからどうしたらいいのか」と熊谷市議に訴えます。熊谷市議はその場で市の危機管理対策室に電話し、調査を要請しました。

台風18号は、北海道内各地で猛威をふるいまし、強風に屋根を飛ばされた西区の住民から、札幌・大連公園で被害を調査していた熊谷憲一日本共産党札幌市議に助けを求めた。

熊谷市議の顔を見ると、加藤さんの妻の明子さんは「二階の廊下から空が落ちて、頭の中が真っ白。飛んでいった屋根

調査していた熊谷憲一日本共産党札幌市議に助けを求めた。

調査を要請しました。

# 強風被害 すぐ現場へ



台風の被害で住民から話を聞く伊藤（左端）、熊谷（右から二目）両市議ら  
11日、札幌市

# 「小鳥の村」現地調査

## 札幌・南区の藤野通延伸問題

### 党市議団 住民に不安も



「小鳥の村」地域の現地調査をする党札幌市議団＝2日、札幌市南区

日本共産党札幌市議団 南区藤野の愛称「小鳥の村」は、藤野通延伸問題「村」地域の現地調査をおこなっている札幌市こないました。札幌市

は、藤野通を石山方面へ延伸することを検討しています。

この延伸部分は「小鳥の村」をはじめ自然環境の豊かな場所であり、過去にもこの延伸が提案され、住民の反対運動で断念した経緯があります。「小鳥の村」周辺は国の法律による鳥獣保護区、道の環境緑地保護地区に指定され、市も都市環境地区に指定して年次計画的に、この地域の土地を購入し環境保全につとめているところだ。市は、藤野通延伸について小鳥の村を、①迂回（うかい）しないでトンネルを掘る②迂回する③の二案を検討し、住民に示しています。

現地調査では、地域の自然環境破壊を心配している住民の声を聞きまします。トンネルを掘っての延伸には、小鳥の村のかけがえのない生態系保全に影響があるのではとの不安の声が、少なくない住民にあることがわかりました。

現状は構想の段階でまだ事業には入っていません。

市は、今後、来年二月上旬までに市民との勉強会を三回計画し、第一回目を二十八日に開催するとしています。

現地調査には、飯坂宗子、熊谷憲一、小形かおり、伊藤りち子の各市議と生駒正尚、岩村米子前市議が参加しました。

# 清田区(有明)山中の産廃棄処分場

## 日本共産党 建設予定地を現地調査



九月二日、日本共産党札幌市議団は、地域住民から生活環境の安全性に不安が寄せられている札幌市清田区有明の産廃棄物最終処分場予定地の現地調査を行いました。

この予定地（写真）は、厚別川上流（あしりべつ川）の南側にある採石跡地です。この一帯は、緑と水の豊かな丘陵地帯です。採石跡地は海拔約二〇〇メートルの高さにあり、それを約一〇メートルほど掘り下げ、産廃処理しようとする計画で、（協）公清企業が設置許可申請を札幌市に提出しています。計画では、埋立て面積は約四・一ヘクタール、埋立容量は約二十九万立方メートルとなっています。

近隣住民からは、安全性から「産廃最終処分場の設置は一般的には海拔ゼロメートルに設置」すべき。この計画は「環境保全、生態系保全の最大の障害になります」と危惧の声があがっています。

党市議団は、札幌市山本俊昭清掃事業部長、善徳信幸産業廃棄物係長などから説明をうけました。現地調査には、飯坂宗子・熊谷憲一・小形かおり・伊藤りち子市議が参加、岡ちはる・生駒正尚前市議が同行しました。

これに先立ち、手稲前田の産業廃棄物最終処分場の視察もおこない、これには井上ひさ子市議も参加しました。



札幌市議会 委

飯坂議員

# 義務教育費国庫負担の「廃止」 市の姿勢ただす

札幌市議会税財政調査特別委員会が二十七日、日本共産党の飯坂崇子議員は「三位一体の改革」に関連して市当局の考えをたてました。

飯坂市議は、十九日に地方六団体がまとめた「国庫補助負担金等に関する改革案」の最後に記

載されている全国知事会議での十三都県知事の付

記意見をとりあげ、義務教育費国庫負担金の廃止

・一般財源化に、「反対」や「慎重」などの意見が

述べられていることについて、財政局長の感想を

求めました。

米田順彦財政局長は

「義務教育は地方行政で重要な分野であり、さまざまな議論がたたかわされたのは当然」「地方分

権、地方自治にかける意気込みがあらわれたもの」と述べました。

飯坂市議は、付記意見では国の責任で義務教育水準を維持することを共

通して強調していることを指摘し、国の責任について市の認識をたてました。

米田財政局長は「義務教育は憲法や教育基本法に定めのあるものということはそのとおり」と認めつつ、「財源確保には

さまざまなやり方がある」と一般財源化もあろうとの答弁にとどまりました。

このあと、札幌市の財政対策について、各部署

一律5%とか10%の削減方針では、結局敬老パスの最終見直し案のように九億円の市民負担など福祉切り捨てと市民サービス切り下げが次々に行われることになるのではな

いかとたたきました。

# 札幌市 敬老バス見直し最終案

## 利用者負担9億円も

### カード年額1、2、3万円の選択制



敬老バスの「今の制度を守ろう」と署名活動をする人たち—札幌市

札幌市は二十五日、高ける一方、利用者一人平す。

年齢者が利用する敬老バス、均五千四百円、全体で九の最終見直し案をまとめ、市内にもほる新たな負

上、市民が無料で、金額

有料で交付します。利用

者は、年間三万、二万、

小川党 撤回求め運動さらに

市議団長 撤回求め運動さらに

ス利用の六割が通院目的です。買物やボラティア活動などにも利用され、高齢者の健康と社会参加に欠かせないものとなっており、市がまとめた最終案では、敬老バスの発行をやめ、新たに「敬老用乗車専用カード」を

敬老バスの存続を求めている「札幌敬老バスを守る連絡会」の竹中九仁男代表は、「自己負担・上限設定」で批判の多かった三月議会の案の枠組みを変えないもの。決して高齢者の理解を得られないものではありません」と語ります。

日本共産党の小川勝美市議団長は「三月に示した案では利用者負担は五億円。それをこんどは九億円に引き上げようとしています。市民の間で反対の声が大きく広がるとは間違いないと思います。撤回を求めて引き続きたたかいの輪を広げていきます」と話しています。

# 資金補助条例提出へ

日本共産党札幌市議団は、来月二十一日から開会される第三回定例会で議案提案権を使って、「札幌市住宅リフォーム資金助成条例」を提案します。

全国では、十二都府県五十七市区町で実施され、個人が住宅リフォームなどの工事を行う場合、行政が一定の割合で資金助成をします。住民や業者から歓迎されています。

兵庫県明石市では、二〇〇二年度、二百一件の工事が資金助成を受けました。市の助成額は千七百万円で、工事総金額が二億六千三百万円と千五倍の経済効果をあげています。また、東京都目黒区では

## 住宅改修で仕事おこし、町おこし

二十五倍近い効果となっています。

日本共産党札幌市議団が提案する条例案は、屋根の無落雪（スノーダクト）化やロードヒーティング、段差解消や手すり設置などバリアフリー化、外壁工事や内装クロスの変更替え、ふすま・畳の交換など住宅工事を幅広く対象にするもので、工事費の10％、最高三十万円までを助成するものです。

来春から、年五億円の予算で百億円程度の経済効果を見込んでいます。

宮川潤幹事長は、①市民が喜ぶ「住宅リフォームを手控

えてきた市民が、これを機会に老後に備えたバリアフリー化などを行う②業者が喜ぶ不況に苦しむ建設・建築関係の中小零細業者の仕事が増える③地域経済の活性化「リフォーム工事なので、東京の大手の会社でなく、地元

の業者が注目を集め、地域経済に良い影響を与える④市の財政負担は小さい⑤助成額の二十倍程度の大きな経済効果が見込める」とし、「関係業者の方をはじめ市民のみならず、皆さんの後押しをお願いしたい。他党にも呼びかけ、ぜひ可決させたい」と語っています。

## 共産党札幌市議団





小沢副市長（左）に要望書を渡す竹中代表（右）＝30日、札幌市

ス会  
パ絡  
老連  
敬守

## 存続求め要望書再提出

### 札幌 副市長「見直し変更ない」

札幌敬老バスを守る連  
絡会は三十日、現行通り  
二年間の敬老バス交付を  
求めた要望書を上田文雄  
札幌市長あてに再提出し  
ました。要望書を提出し  
たのは十六日に続き二回  
目。

今回は百三十六団体分  
を提出しました。団体要  
望書には札幌市の老人会  
の11・3多にあたる五千  
九の老人会が含まれてい  
ます。

二回で三百八十一の  
団体が要望書提出し、議  
会提出署名の合計数は  
五万人分を超えまし  
た。

同連絡会の竹中久仁男  
代表が「市長への要望書  
をどう受け止めたのか聞  
きたい」と問うたのに対  
して、対応した小沢正明  
副市長は「今、バス会社  
との交渉などを進めてい  
る。四月から新たな制度  
で行えるように相談して  
いるところ。方針の変更  
は無い」と、敬老バスの  
「見直し」を四月に向け  
て行う意思に変わりがない  
ことを示しました。

事務局長は「市民には市  
長や副市長が考えている  
ほど、情報が伝わってい  
ない。市民と二階に行政  
がこの制度を守るとい  
うのならもっと情報公開  
すべきだ。市長が市民  
の間に入って対話をし  
てほしい」と訴えまし  
た。

市役所には二十七人が  
駆けつけ、竹中代表は  
「あくまでも市は『見直  
し』をやる気だ。もっと  
運動を広げていこう」と  
訴えました。

め、課題整理だという理  
解でよろしいのですね」  
との再質問に、黒田隆樹  
交通事業管理者は「存続  
させるために残された課  
題を整理すること、こと  
です」と答えました。

## 小形議員、真意ただす

### 札幌市電「廃止」・広報掲載問題

### 市側「存続への課題整理だ」

路面電車を特集した  
『広報さっぽろ』七月号が  
『存続するか・廃止する  
のかの方向性については  
平成十六年（二〇〇四年）  
度中に決定する必要があ  
ります」と廃止も含んだ  
表現で書いていた問題  
のかと質問しました。

で、日本共産党の小形香  
織札幌市議は二十日の市  
議会経済公営企業委員会  
で「なぜまた『廃止』とい  
う言葉も使って広報に載  
せたのか。市電を存続さ  
せる方向に変わりはない  
のかと質問しました。

高宮剛夫総合交通計画  
部長は「存続させるため  
にさらなる課題の整理が  
必要だ」という代表質問に  
対する市長の答弁通り、  
基本スタンスに変化はな  
い」と答弁しました。

この問題は、市電存続  
を願う市民の運動が広が  
る中で、二月二十五日の  
交通事業経営改革会議で  
「存続のために、経営の  
効率化など課題の整理を  
行い、議会や市民との幅  
広い議論などを行う」と  
の結論が出されていたも  
のです。

小形市議は、あくまで  
も「存続」に軸足を置いて、  
市民とも議会とも議  
論していくよう求めまし  
た。

国保相談会であいさつする小形市議（奥中央）＝札幌市



札幌中部民商

## 制度使い国保減免

# “これで何とか払える”

## 飲食店のママさんから喜びの声

札幌中部民主商工会（新井和子会長）はこのほど、国民健康保険（国保）料の納付相談会を行いました。すでに六月中旬に新しい納付書が届いており、「国保料が高くて払えない。せめて払える金額にしたい」という人を対象に行ったもので、すすきのママなど二十四人が参加しました。

日本共産党の小形香織札幌市議は「党市議団はこの間、国保料の引き下げを訴えてきました。資格証明書の乱発をやめよと議会でも迫ってきています。中小業者のみならず、長引く不況で売り上げも減少し、消費税の課税業者の問題など厳しさを増しているま

す」と述べ、参加者を激励しました。倉嶋哲夫事務局長が「今日の納付相談は『高くて払えないから払える金額にしてほしい』という交渉をします。納付相談や仮の減免申請は私たちの運動で勝ち取ってきた権利です。遠慮せずどんどん訴えましょう」と呼びかけました。

その後、小形市議も同行して中央区役所でそれぞれが納付相談や仮の減免申請を行いました。

納付相談を行った参加者は「いろいろ言われたが、これで何とか払っていただけます」「少しは生活にゆとりができました」と喜んでいました。

安採破棄道実行委員会  
は二日、島松射爆場の新

### 島松射爆場での 射爆撃訓練中止

道安保破棄実行委が申入れ



空白に申し入れる (正面  
右から) 飯坂、山下、山田  
の各氏二日、千歳市

ルートで五日から実施さ  
れる三回目の空対地射爆  
撃訓練の中止を求めて、  
千歳市の航空百衛隊第二  
航空団に申し入れまし  
た。

飯坂宗子日本共産党札  
幌市議、山田久枝同北広  
島市議、山下忠孝同実行  
委事務局長ら四人が参  
加。航空団側は基地対策  
室長らが応対しました。

## 光る共産党の実績

札幌市は、七十歳以  
上の市民が市営交通機  
関などを無料で利用で  
きる敬老優待乗車証  
(敬老パス)の見直し  
を計画し十月から実施  
しようとしています  
が、大きな市民運動と  
日本共産党札幌市議団  
などの連携で、それを  
断念させました。市側  
は「来年四月をめどに  
準備をすすめる」と実  
施の姿勢を崩してはい  
ませんが、市に延期を  
決断させたこと自体、  
画期的な成果と言えま

す。  
見直し計画を知った

### 札幌市の敬老パス 市民運動と連携 10月改悪延期に

広範な人たちは「札幌  
敬老パスを守る連絡

会」の活動を再開。日  
常生活や通院、社会参  
加など、高齢者にとっ  
て敬老パスがどんなに  
大事なものを繰り返返  
し訴え、制度存続を求  
も続けました。



札幌の敬老パスを守る連絡会の人  
たちと懇談する日本共産党の小川市議  
団長(中央) 11月26日

その結  
果、請願  
署名は四  
万八千人  
に及び、  
市長への  
団体の要  
望書も百  
六十九に  
広がりが  
した。そ  
してつい  
に十月実  
施断念に  
た。

追いついたのです。  
日本共産党市議団は  
市議会で「見直しを撤  
回し現行制度のまま存  
続を」と繰り返し要求  
し質問。とくに「財源  
がきびしい」という市  
側の言い分に対し、  
「福祉のやり過ぎで市  
の借金が増えたのでは  
ない。コンベンション  
センターなど大型公共  
事業が借金増大の原  
因。そこにメスを入れ  
るべきだ」と指摘。具  
体的な対策や財源提案  
なども示し「敬老パス  
は現行のまま存続でき  
る」と論陣を張りまし